

## 資料 4

### ISO/IEC JTC1/SC34/JWG7 ( EPUB ) 報告

記録作成日：2018-06-01

宮澤彰、奥田倫子

日時 2018-05-16 14:00-17:00

場所 ポルトガル リスボン ポルトガル国立図書館 ( National Library of Portugal )

1. Opening of the meeting
2. Roll Call of delegates  
Convenor : Sam Oh, Yong-Sang Cho ( WebEx , 韓国、KATS )  
事務局 : Todd Carpenter ( 米国、NISO )  
韓国、ドイツ、日本、中国、デンマーク、米国、オーストラリア , TC171/SC2 から  
WebEX ( 韓国 , 英国 ) 含めて 11 名参加
3. Adoption of the agenda  
採択。議題の 5 と 6 は順序を入れ替えて議論された。
4. Nomination of Resolution drafting committee  
Todd ( 米国 )
5. CRM on ISO/IEC PDTS 22424-1 and 22424-2
  - ・コメントには対応済。
  - ・ Project leader Juha の以降で , 再度の投票を行う。  
( この件に関し , directives 上 PDTS か DTS かといった議論があった ) 。
  - ・ DTS 投票 ( 5 か月 ) をまもなく開始する。
6. CRM on ISO/IEC PDTS 30135 -1 to 6
  - ・コメントに対応済。
  - ・ 2014 年に TS として成立し 2017 年の有効期限が来ているため、国際標準(IS)化の準備を開始する。様式を ISO テンプレートにあわせる必要があり、相当の工数がかかることが予想されるため、NISO または DIN で作業できるか確認する。 NISO には様々な形式変更のノウハウあるよう。
  - ・ 様式変更後、CD 投票 ( 5 か月 ) を想定。

7. Preparation for NP re-ballot for ‘Specification of DRM technology for e-book content in EPUB format’

- ・現在のところ、日本と韓国以外に expert 見込みがない。
- ・参加するかどうか、国内の合意がまだ形成できていない。DRM そのものを問題視する意見もある（米国）。
- ・DRM の標準化を進める理由づけ（rationale）は何か（カナダ）。（韓国，米国から回答）（１）国立図書館の法定納本において収集・保存・提供に必要であること、（２）アクセシビリティの観点、の二つである。
- ・提案のスキームの理由づけを A4 一枚にまとめてほしい。

8. Discussion for next step of JWG7

- ・各案件については 5 から 7 の議題で扱った。
- ・今後の会議予定 2018 年 9 月 10 日～14 日 @シアトル  
2019 年 5 月 6 日～10 日 @オタワ

9. Approval of JWG7 Resolutions

以下、2 項目が承認された。

**JWG7 決議 2018-01**

ISO/IEC PDTS 30135 -1 to 6 を IS 化に向けて CD 投票を行う

**JWG7 決議 2018-02**

ISO/IEC PDTS 22424-1 and 22424-2 について、DTS 投票を行う。

10. Closure of the meeting